

2025年11月21日  
デジタルグリッド株式会社

## コーポレート PPA マatchingプラットフォーム 「RE Bridge<sup>®</sup>」 第6回オークション結果

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「当社」）は、再生可能エネルギーの普及を促進するためコーポレート PPA の Matchingプラットフォーム「RE Bridge<sup>®</sup>」を通じたオークション方式での Matching を定期的 to 実施しています。

第6回オークション（2025年10月14日～11月14日）の結果、Matching件数は26件、総設備容量は約35MWとなりました。

今後も当社は「RE Bridge<sup>®</sup>」を通じて、再エネの普及促進に努めてまいります。

### 「RE Bridge<sup>®</sup>」とは

オークション形式で、再エネの「発電家」と電気を使う「需要家」の Matching（価格合意形成を踏まえた商談申込）を行うデジタルグリッドのサービスです。オークションへの参加は、申し込みを頂き所定の審査を経た「RE Bridge 会員」（入会金・年会費無料）が対象です。

### オークションデータ

	需要家 会員数 [社]	発電家 会員数 [社]	発電所 登録数 [件]	設備 容量 [MW]	発電家希望 PPA 価格			
					最大値 [円/kWh]	最小値 [円/kWh]	平均値 [円/kWh]	中央値 [円/kWh]
第6回 2025/10~11	73	116	426	1,745	41.5	11.5	16.1	14.5
第5回 2025/5~6	59	98	431	2,126	38.5	12.0	15.6	14.5
第4回 2024/11~12	39	57	158	339	20.5	10.5	15.3	15.0



第3回 2024/7~8	27	38	103	259	20.0	12.5	14.7	14.5
第2回 2024/3	21	24	80	230	20.0	13.0	15.5	15.5
第1回 2023/9~10	11	18	52	98	20.0	14.0	15.4	15.0

## オークション結果

今回マッチングした案件の設備容量は、小型で価格競争力がある発電所のマッチングが先行し、大型の発電所のマッチングが無かったことなどから、第5回に比べ減少しました。

	マッチング [件]	設備容量 [MW]	発電家 希望 PPA 価格 平均値 [円/kWh]	需要家 希望 PPA 価格 平均値 [円/kWh]	取得 FIP 単価平均値 [円/kWh]	環境価値価格 <sup>*1</sup> 平均値 [円/kWh]	発電家希望 PPA 価格 - 取得 FIP 単価 の平均値 [円/kWh]
第6回	26	35	15.3	15.2	12.7 <sup>*2</sup>	1.9	5.0
第5回	31	107	18.1	17.8	15.9 <sup>*2</sup>	2.3	3.0
第4回	15	37 <sup>*3</sup>	19.0 <sup>*4</sup>	19.0 <sup>*4</sup>	17.3 <sup>*4</sup>	1.6 <sup>*4</sup>	1.7 <sup>*4</sup>
第3回	12	92	14.9	14.4	11.7	1.5	3.2
第2回	12	92	14.7	14.0	11.0	1.8	4.7
第1回	1	0.5	15.0	14.0	11.0	2.8	4.0

※1 環境価値価格…[ストライクプライス + DGP 手数料 - JEPX 売電単価 - FIP プレミアム]により算出される需要家支払単価を指し、契約期間 20 年間における平均価格を記載しています。JEPX 売電単価については、当社独自の想定を置いて試算しています。

※<sup>2</sup>一部の屋根置き案件は、初期投資支援スキーム（期中で FIP 単価が変動する）案件が含まれるため  
当該案件は加重平均した FIP 単価で平均値を試算

※<sup>3</sup>設備容量内、22.8MW は地熱発電所

※<sup>4</sup>価格は太陽光発電所のみ

## 次回のオークション予定

2026 年 1 月～2 月ごろを予定しております。

### 用語説明

PPA 価格	再生可能エネルギーの発電家が、企業などの電力利用者と長期契約で電力を売買する仕組みを PPA (Power Purchase Agreement (= 電力購入契約))と呼びます。PPA 価格とは、この契約に基づいて取り決められる電力の販売価格です。
FIP 単価	FIP (Feed-in Premium)制度は、市場で電力を売る発電家に、基準価格との差額を補助金（プレミアム）として支給する仕組みです。FIP 単価とは、この補助金の単価を指します。
環境価値	再生可能エネルギーは CO <sub>2</sub> を排出しない発電方法であり、その「環境に良い」という価値が環境価値です。この価値は、証書などを通じて取引され、企業の脱炭素経営に活用されます。
ストライク プライス	ストライクプライスはバーチャル PPA において発電家とあらかじめ合意された売電基準価格です。バーチャル PPA は電力と環境価値を切り離して考え、環境価値のみを需要家に届ける手法です。
JEPX 売電単価	JEPX (Japan Electric Power Exchange) は日本の卸電力取引市場であり、発電された電力が売買される市場です。JEPX 売電単価は、この市場で決まる電力の販売価格です。

FIP プレミアム	FIP プレミアムは、発電した電力の市場価格が基準価格を下回った場合に支払われる補助金です。発電家の収益安定を目的とした仕組みです。
--------------	--

## 会社概要

▶令和7年度 気候変動アクション環境大臣賞 ▶令和6年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017年10月 資本金：1,139百万円 従業員数：89名（11月1日現在）

所在地：東京都港区赤坂 1-7-1 赤坂榎坂ビル 3階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供

## 問い合わせ先

デジタルグリッド株式会社 広報室 石原・安藤 [pr@digitalgrid.com](mailto:pr@digitalgrid.com)

TEL 080-4350-2981 / 03-6256-0008